

Focus 2

脱炭素の取り組みを推進

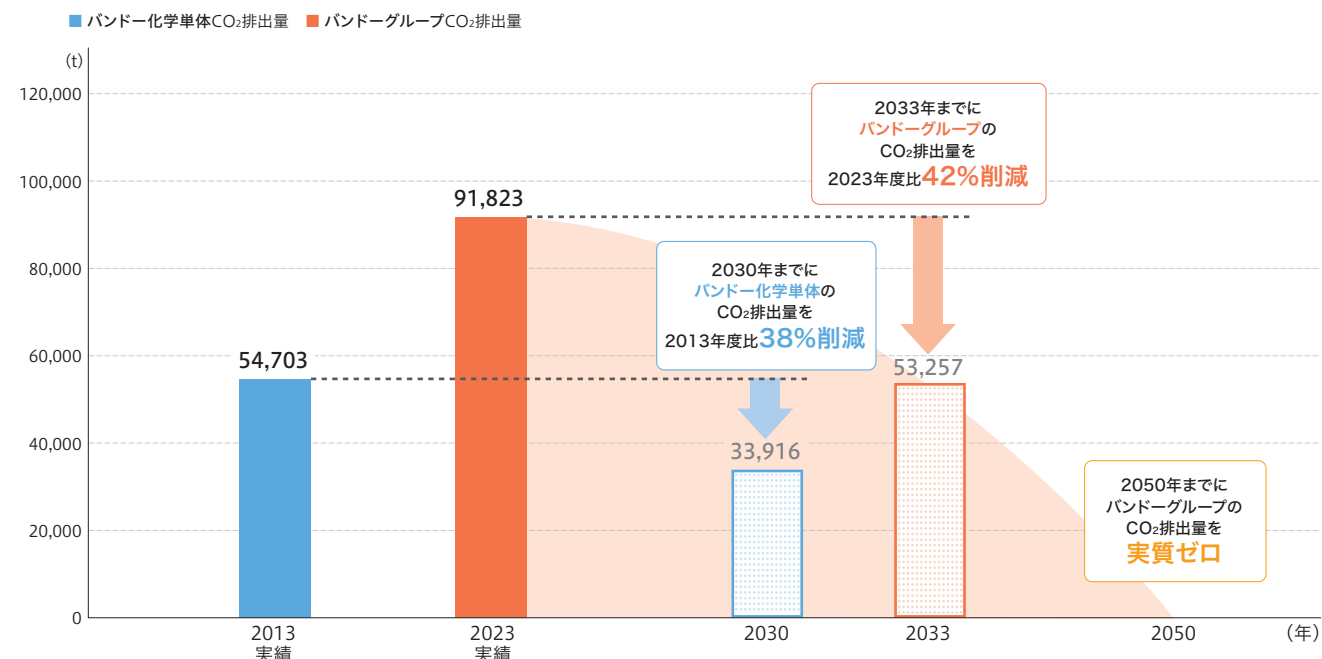
世界的な異常気象や大規模な自然災害が相次ぐなか、気候変動への対応は世界的な重要課題として認識されており、脱炭素の取り組みの重要性が高まっています。当社グループでは2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、太陽光発電システムの導入、高効率設備への更新、エネルギーロスの削減等の様々な取り組みを推進しています。

CO₂排出量
削減目標2050年までのカーボンニュートラル実現を
目指しバンドーグループ目標を設定▶ 2033年までにバンドーグループのCO₂排出量を2023年度比42%削減する目標を新たに設定

2026年5月、2050年までにバンドーグループのCO₂排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル実現に向けて、2033年までに燃料使用および電力に由来するバンドーグループのCO₂排出量を2023年度比42%削減する目標を設定しました。

脱炭素に向けた取り組みを各国の企業が求められるなか、2022年度に、2030年までにCO₂排出量を2013年度比38%削減する単体目標を掲げ、ロードマップに基づき施策を推進してきました。

パリ協定に基づく1.5℃シナリオを踏まえた今回の新たな目標の設定によって、CO₂排出量削減への取り組みをバンドーグループ全体で推進していきます。

CO₂排出量の削減目標 (SCOPE1+2)CO₂排出量目標2050年までに
CO₂排出量
実質ゼロ
(グループ)2033年までに
2023年度比
42%削減
(グループ)2030年までに
2013年度比
38%削減
(単体)バンドーグループが
貢献するSDGs取り組み
例当社グループにおける
脱炭素への取り組み・貢献

▶ 太陽光発電システムの導入

Bando Manufacturing (Vietnam) Co., Ltd.

2026年4月、工場屋上に発電能力 554.4kWの太陽光発電システムを導入。同工場で使用する電力の約26%に相当し、年間約408t-CO₂のCO₂排出量を削減しています。



▶ エネルギーロス削減

加古川工場

2026年1月、フラッシュ蒸気回収装置を設置し、蒸気ドレインの熱回収を実施。ボイラーに供給する水を事前に温めることで使用する燃料を削減し、CO₂排出量を削減しています。



▶ 燃料転換

福井ベルト工業株式会社

2026年1月、ボイラーの燃料を重油からプロパンガスに変更。燃料転換によりCO₂排出係数を下げ、CO₂排出量を削減しています。



▶ 製品を通じた削減貢献

当社グループでは、環境配慮の自社ブランド“eco moving”製品を対象にCO₂削減貢献量を算定しています。

➡ P.17 CO₂削減貢献量(eco moving製品)CO₂排出量
の算定

SCOPE3算定範囲の拡大・精度の向上

▶ 算定範囲をSCOPE3まで拡大し第三者保証を取得

2025年度から、当社グループはCO₂排出量の第三者保証の対象範囲を、従来のSCOPE1,2に加え、サプライチェーン全体にわたるSCOPE3の全カテゴリー※(連結)まで拡大し、2026年7月に同対象範囲の第三者保証を取得しました。今後も、SCOPE3の算定にあたっては、さらなる算定精度の向上に取り組んでいきます。

また、SCOPE3のカテゴリー別CO₂排出量のなかで大きな割合を占めるカテゴリー1(購入した商品・サービス)については、CO₂排出量削減に寄与する、原材料の見直し等の検討を開始しました。

※算定対象となるカテゴリー

